

「都市計画公園のあり方について」

(4) 府営公園の現状

府営公園の現状

府営公園の位置図等

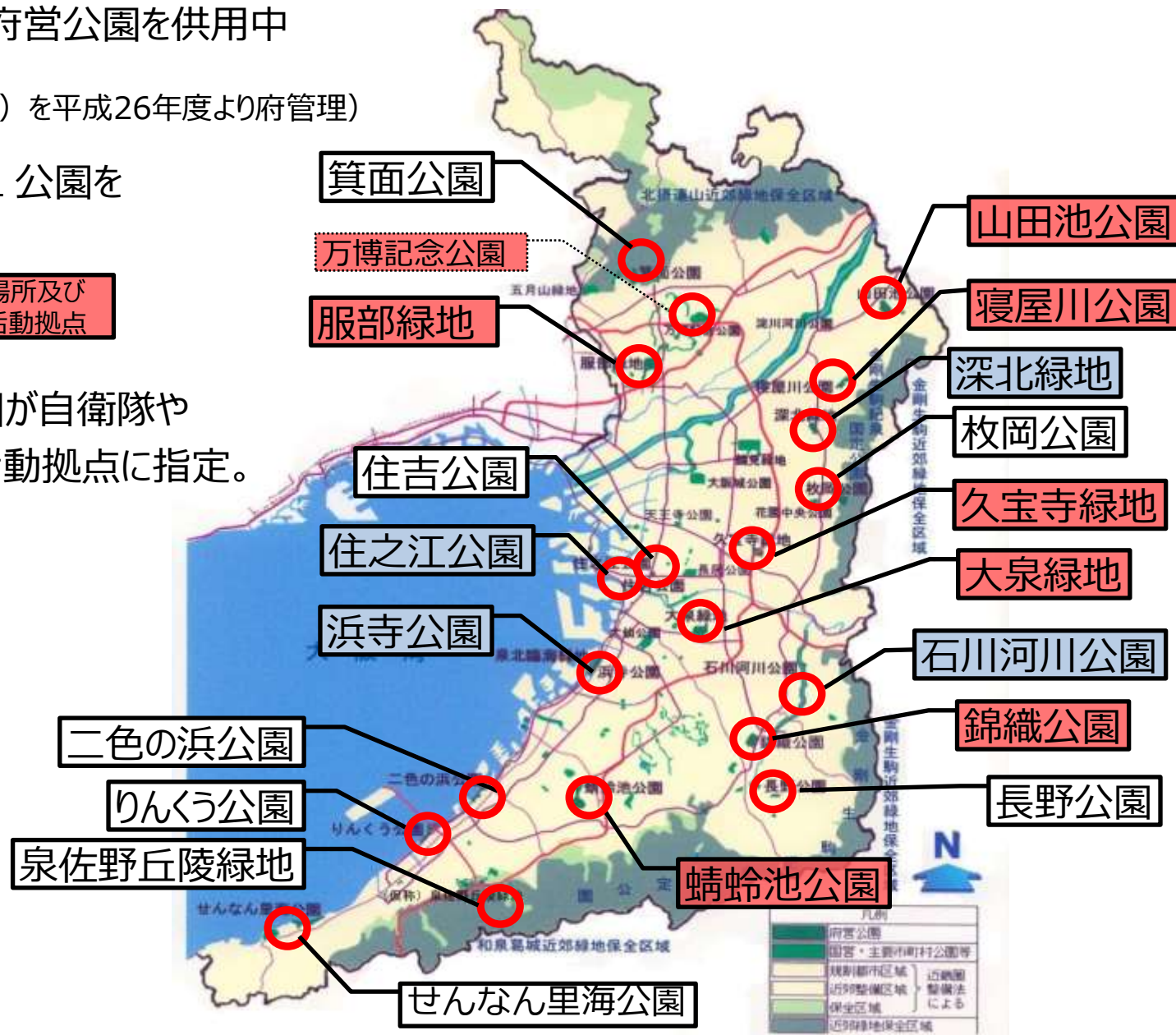
- 19公園・995.1haの府営公園を供用中
(平成29年7月末時点)
(+万博記念公園(約260ha)を平成26年度より府管理)

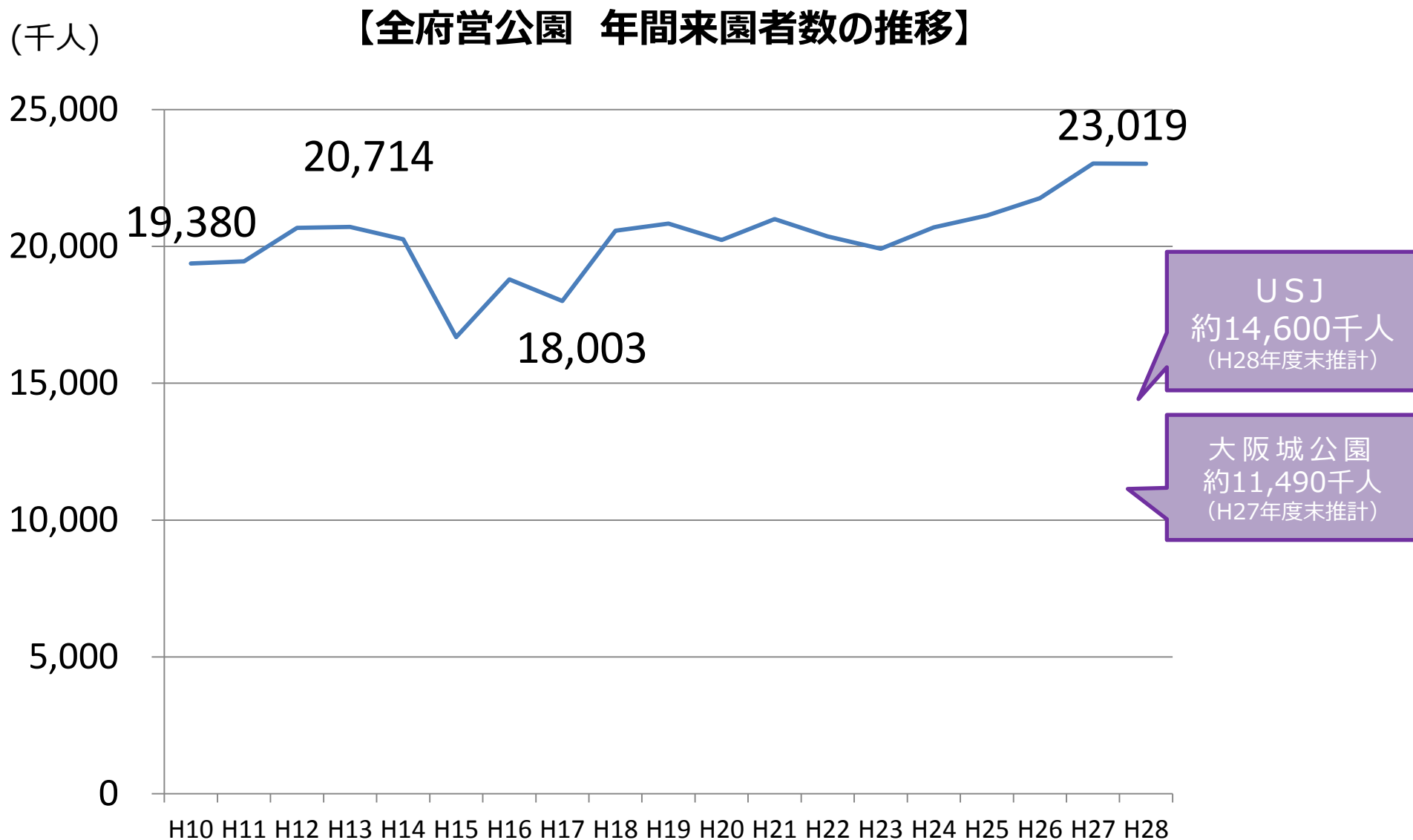
- 19府営公園のうち、11公園を
防災公園として指定。

広域避難場所

広域避難場所及び
後方支援活動拠点

- 防災公園のうち、7公園が自衛隊や
警察等の後方支援活動拠点に指定。

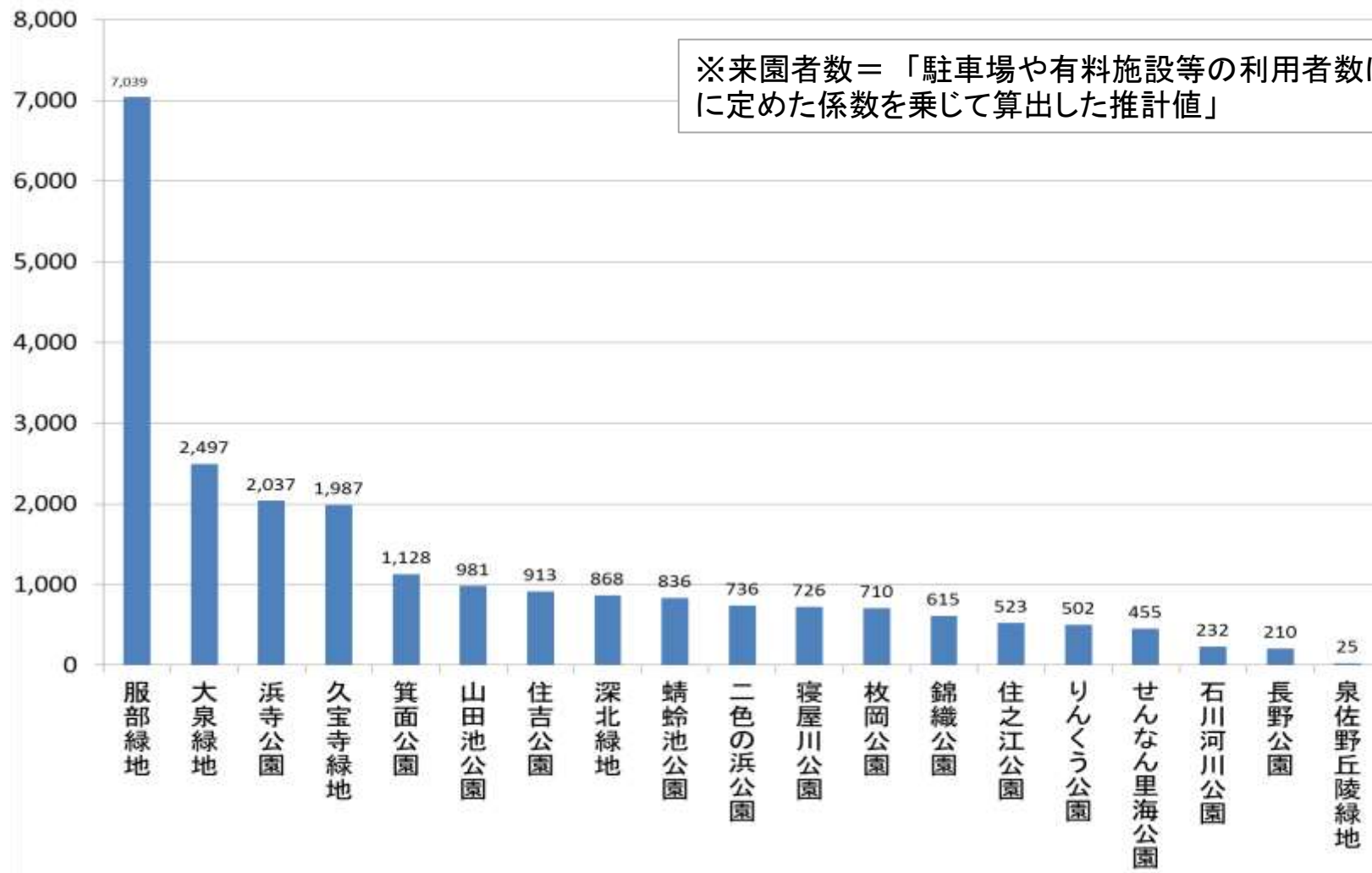




○ 約19百万人（平成10年度）から約23百万人（平成28年度）に増加。（18年間で約2割増）

【府営公園別 年間来園者数（平成28年度）】

(千人)



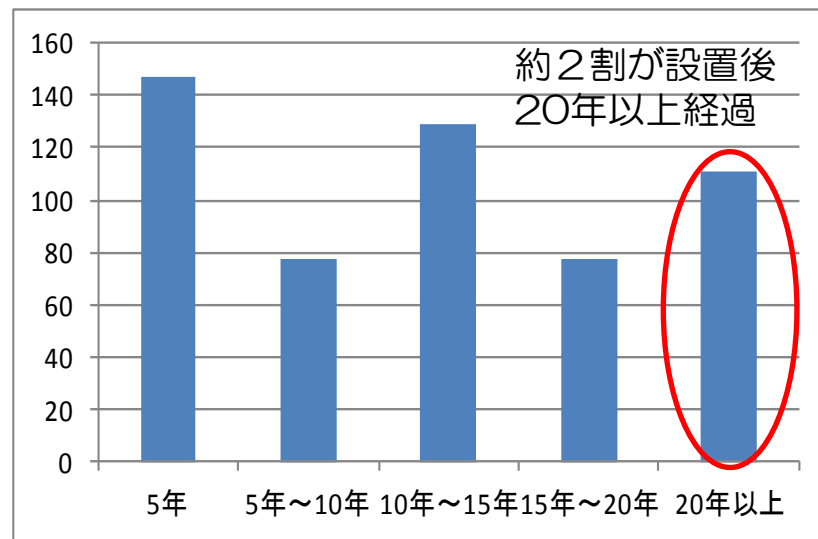
- 市街地に位置する公園（服部、大泉等）は利用者数が高く、郊外の公園（長野、泉佐野丘陵等）が比較的少ない。

【主な公園施設一覧】

公園管理施設		管理総数	
遊具	16公園	541基	
園路・広場	19公園	115万m ²	
橋梁	15公園	84橋	
公園関連設備			
受変電設備	14公園	67基	
非常用発電設備	10公園	29基	
公園サービス施設等			
野球場	9公園	14面	
陸上競技場	3公園	3箇所	
テニスコート	14公園	121面	
プール	4公園	4箇所	
トイレ	19公園	178棟 (うち防災用30棟)	

※平成26年度末時点の管理数量
 ※トイレは建物内などを除く単独棟のみの管理数量

【府営公園の遊具の設置状況】



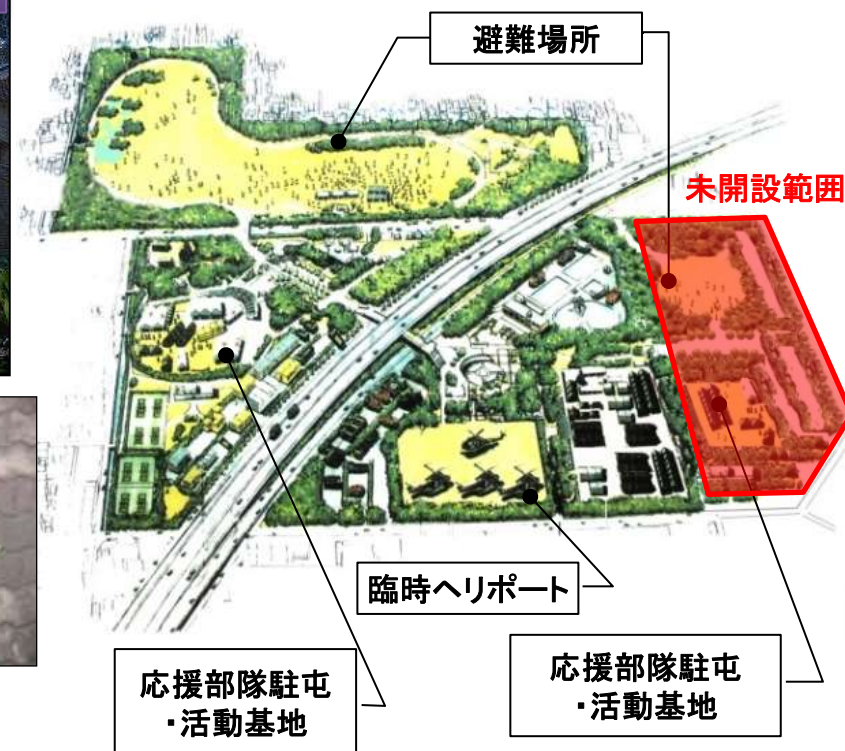
H25～ 長寿命化計画の推進

- 効率的・効果的な維持管理の推進（主な取組み）
 - ①点検業務の充実
 - ②予防保全の推進とレベルアップ、更新時期の見極め
 - ③日常維持管理の着実な実践
- 遊具は安全確保を最優先に、日常点検に加えて不可視部の確認を含めた精密点検を実施すると共に、点検データを蓄積・活用するなど、予防保全の充実を図る

○ 10年後には、遊具の約8割が耐用年数を超過するなど、施設の老朽化が進んでいる。

H11～ 防災公園の整備推進

- ◆ 既開設区域において防災トイレ、非常用照明などの防災施設を整備
→対象となるすべての府営公園において実施
 - ◆ 避難エリア・避難路・活動拠点の面積が不足している防災公園の拡張を実施
→広域的支援部隊受入計画において、候補順位の高い久宝寺緑地を優先
- 平成36年度までに久宝寺緑地・蜻蛉池公園の2公園の拡張完了予定



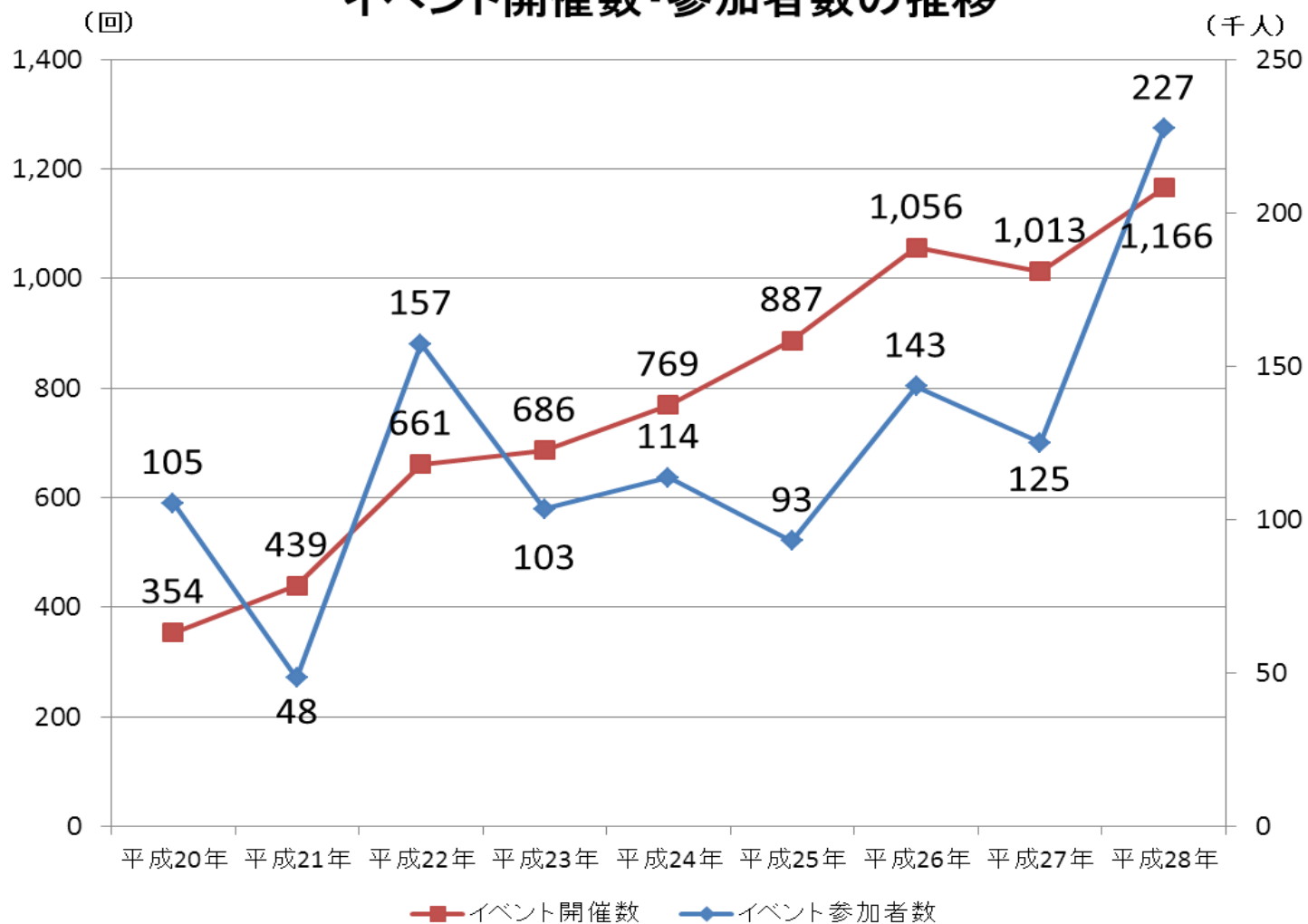
【運動施設の稼働率（平成27年度）】

土日祝			
稼働率	テニスコート	野球場	球戯場その他
90%	服部(人工芝、クレー)、寝屋川、久宝寺、住之江、住吉、浜寺南(人工芝)	寝屋川第1、寝屋川第2、久宝寺、大泉、浜寺軟式	
80%	服部(グリーンサンド)、深北、大泉テニス、浜寺北テニス(人工芝)、浜寺北(アンツーカー)、浜寺南(クレー)、浜寺泉北(人工芝)	服部軟式、深北軟式、久宝寺軟式、住之江、住吉軟式	
70%			服部スポーツA、服部スポーツB、深北球技広場、住之江球技広場、大泉球技広場、大泉スポーツA、浜寺第2球技広場
70%		二色の浜軟式	浜寺第1球技広場、蜻蛉球技広場
60%	蜻蛉	寝屋川ソフトボール、浜寺ソフトボール	大泉スポーツB
50%	二色の浜		二色の浜球技広場、二色の浜スポーツ広場
40%		—	—

全体			
稼働率	テニスコート	野球場	球戯場その他
90%	—	—	—
80%	服部(人工芝)		
70%		久宝寺、大泉	
60%	服部(クレー)、住吉ス、浜寺南(人工芝)	寝屋川第1、寝屋川第2、住之江	
50%	服部(グリーンサンド)、寝屋川A、久宝寺、住之江公園	服部軟式、深北軟式、久宝寺軟式、住吉軟式、浜寺軟式	
40%	寝屋川B、浜寺北(人工芝)、浜寺北(アンツーカー)、浜寺南(クレー)		深北球技広場、浜寺第2球技広場
30%	深北(ゴムチップ)、大泉、浜寺泉北、	寝屋川ソフトボール、浜寺ソフトボール	住之江公園球技広場、大泉球技広場、浜寺第1球技広場、二色の浜球技広場
20%	二色の浜、蜻蛉、蜻蛉センターコート	二色の浜軟式	蜻蛉球技広場
10%			二色の浜スポーツ広場

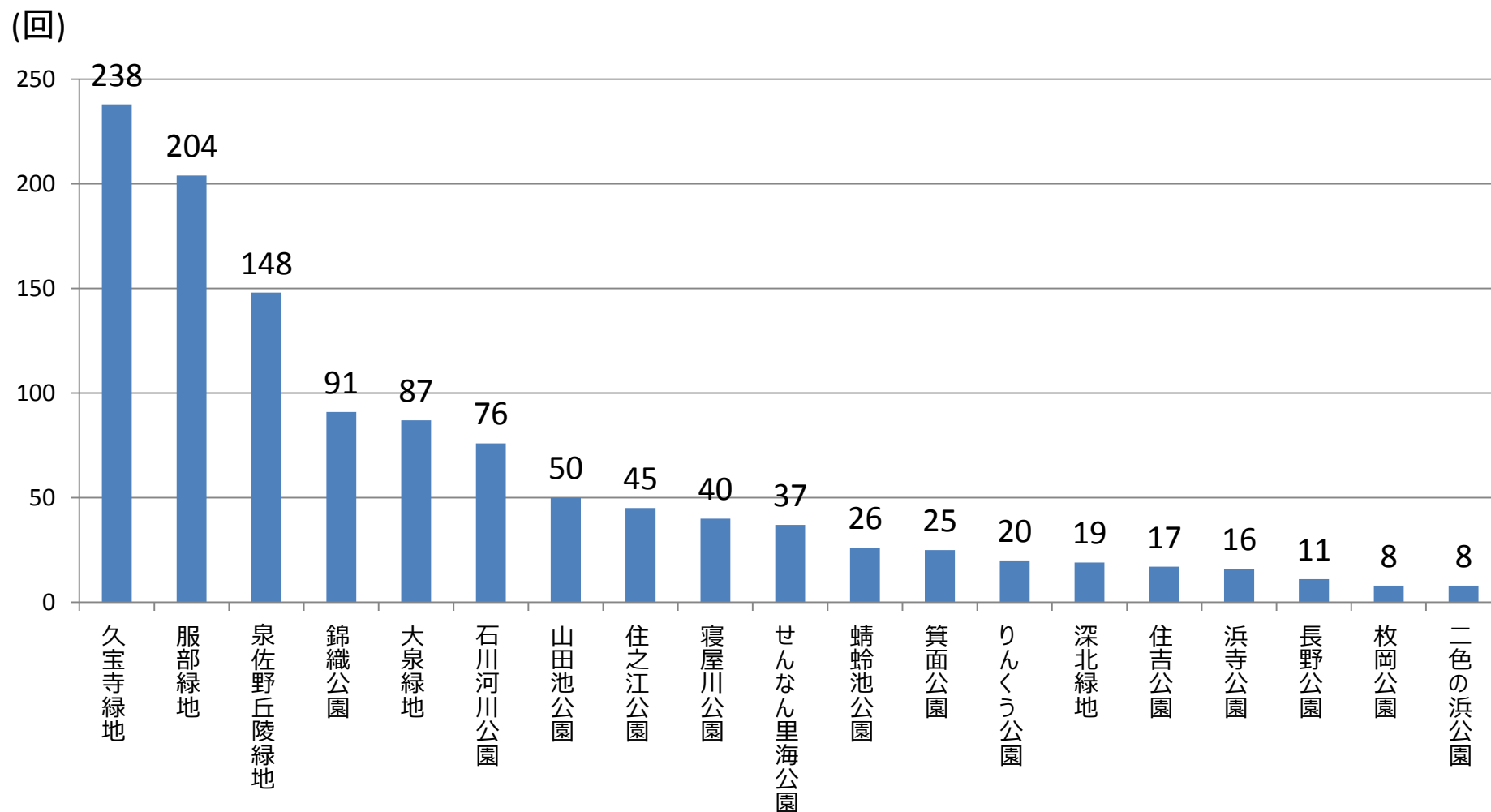
- 同種の施設でも、公園によって稼働率の差が大きい（服部や久宝寺など⇒高、二色の浜⇒低）
- 球戯場やスポーツ広場などは稼働率が全体通して低い状況。

イベント開催数・参加者数の推移



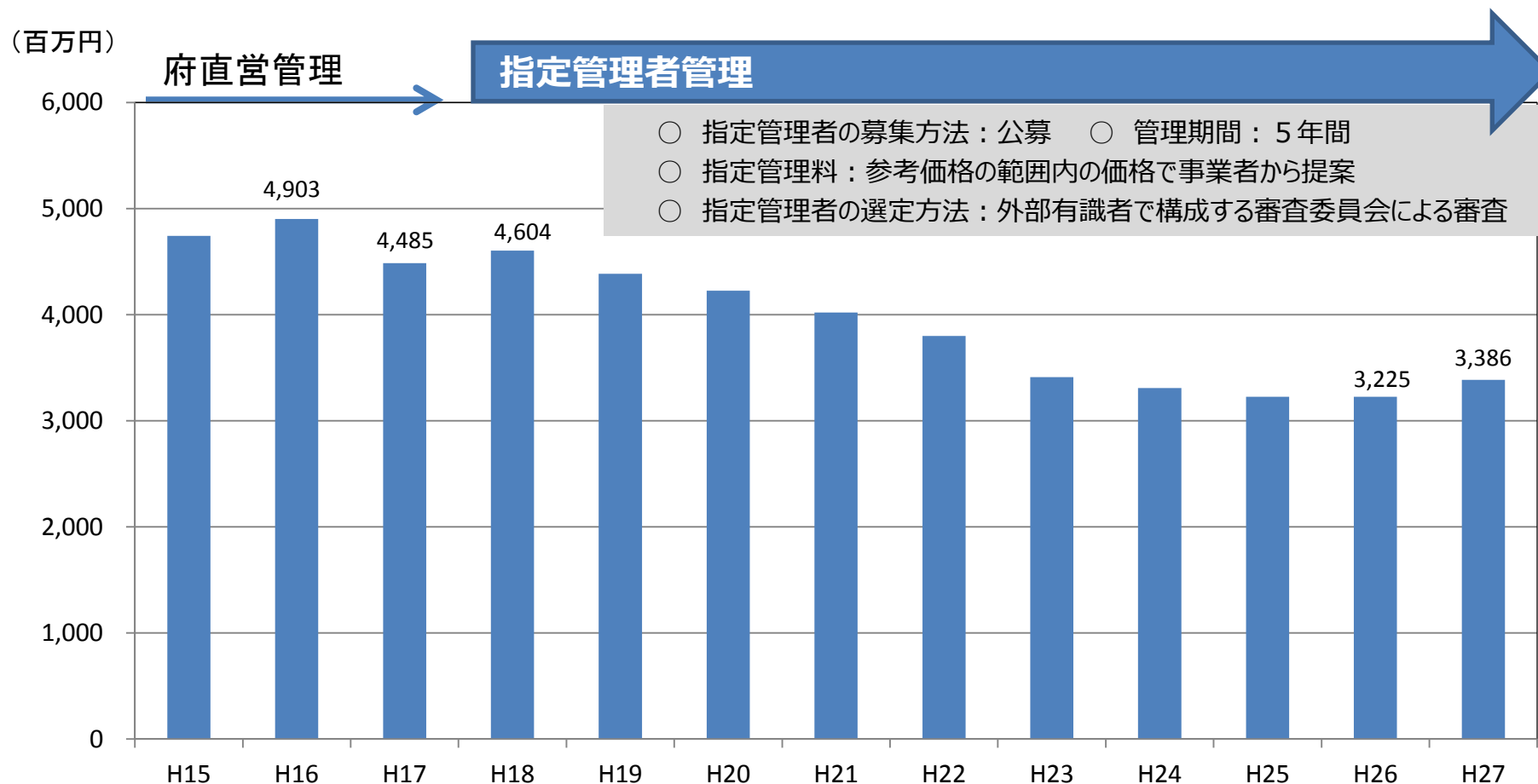
- イベント開催数は、3.3倍に増加。(H20⇒H28)
- イベント参加者数は、2.2倍に増加。(同)

【府営公園毎のイベント開催数（平成28年度）】



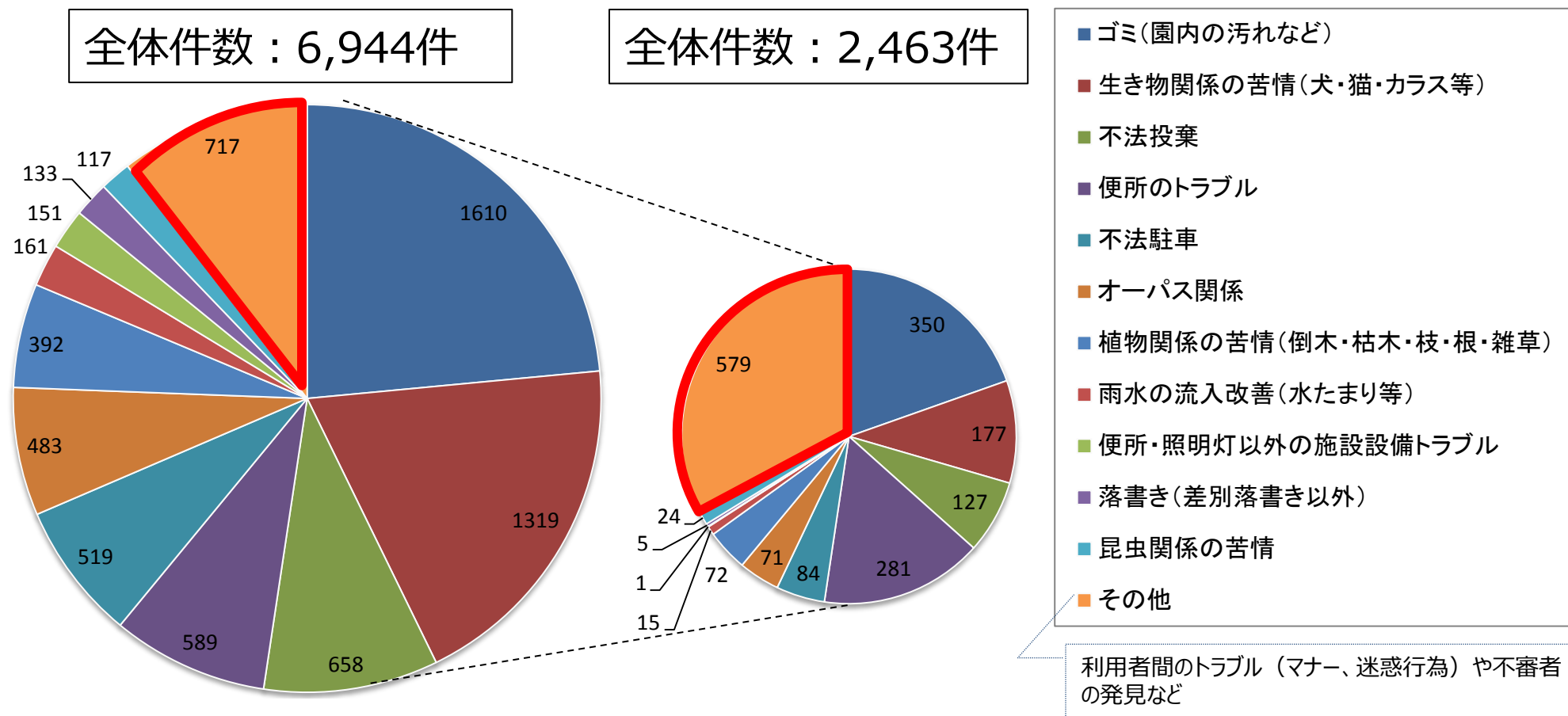
○ 服部緑地、久宝寺緑地、泉佐野丘陵緑地のイベント開催数が顕著。

【公園管理費の推移】



- 公園管理費は、指定管理者制度が導入された平成18年から約7割に減少。

【苦情・要望の状況（平成20年度）・（平成28年度）】



○全体件数は、約 1 / 3 に減少…特に、ゴミ・生き物関係の苦情・不法投棄が減少（清掃など日常管理での対応）

○「その他」の配分が増加。（利用者のマナーに関する苦情が増加している。）

府営公園の現状

協議会・ボランティア団体の活動

協議会 7公園

【事務局：指定管理者、委員：行政・学識経験者・観光協会・商工会等】

公園名	主な協議内容
服部緑地	・地域の関係施設・機関との情報の共有。 ・共同イベント等の企画・実施・広報活動の連携。 ・公園の利用者ニーズやトラブル、苦情等への対処 ・施設の管理運営方針など…
寝屋川公園	
石川河川公園	
蜻蛉池公園	
枚岡公園	
せんなん里海公園	

⇒公園の利用促進を契機とした地域の活性化にも貢献することを目的に開催

【事務局：大阪府、委員：府民・行政・学識経験者・民間企業・活動団体等】

公園名	主な協議内容
泉佐野丘陵緑地	整備及びその運営方針

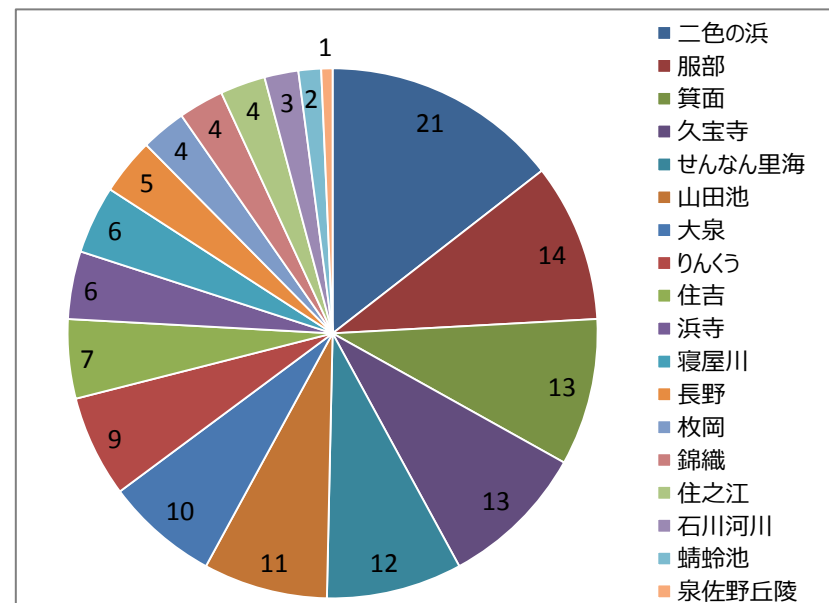
⇒「府民とともに育てていく公園づくり」をコンセプトとし、整備・運営方針等を検討

○多様なメンバーで構成される協議会で公園の管理・運営に関する協議会を実施。

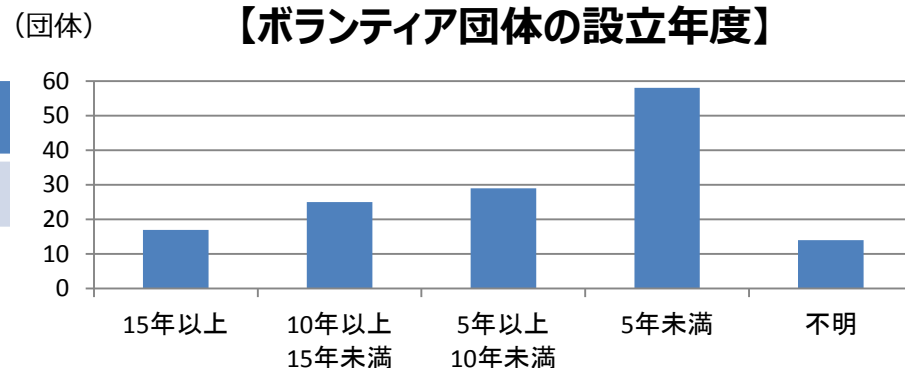
○近年公園を舞台に活動するボランティア団体が増加。

ボランティア団体 18公園 145団体

【府営公園別ボランティア団体数】



【ボランティア団体の設立年度】



H28～ 収益事業の誘致

● 府営公園のより質の高いサービスの提供のため、民間の知恵と活力などをより積極的に導入した「にぎわい施設」（売店やカフェ等の便益施設）の誘致に向けて、公園利用者のニーズや民間事業者の意欲を調査し、都市公園法に定める設置管理許可制度の活用が見込める公園から、順次、事業者を公募します。また、民間のノウハウやネットワークなどを活用した公園の活性化に資するイベント等を、指定管理者や企業、NPO等と連携・協力して積極的に企画・誘致します。



(1) 「にぎわい施設」の設置

・ 府営公園における民間事業者による「にぎわい施設」の設置の取組みの第1弾として、久宝寺緑地で「みどり・環境・防災」に配慮した新しいタイプの売店を設置・管理運営する民間事業者を募集。

➤ 公募結果

決定者：株式会社ローソン

提案内容：公園景観に調和した建築物(277.09㎡)
 インフォメーションスペース(指定管理者・常駐)(55㎡)
 多目的トイレ、屋外飲食スペース
 既設園路と店舗をつなぐアクセスのウッド調舗装(計350㎡)



店舗イメージ(外観1)



店舗イメージ(外観2)

(2) 「にぎわいイベント」の実施

・ 府営公園では、これまでにない新たな魅力づくりを進めていくため、「原則、営利を目的としないもの」に限っていたイベント等の開催条件を緩和し、平成29年度から適用。

○ 「柔軟な規制緩和」と「適切な規制・誘導」をバランスよく実施。

- ・公園の通常利用への配慮
- ・エリア分け、時期による棲み分けを公園毎に設定 など

提案結果



カプセルトイレ

グリーンショップ

マルシェ

ベーカリー
カフェ

パズルラン

エレクトロニック
ラン